科目名	解剖生理学Ⅳ	講師	非常勤講師
履修時期	1年　前期	単位数	1
		時間	30

＜科目設定理由＞

人間のからだはさまざまな組織や細胞・臓器から成り立ち、それらが正常にはたらくことで恒常性が保たれ生命を維持している。看護師は観察から対象の健康状態を判断し、かただが日常生活行動をどのように行っているのかを理解することが必要である。また、生体の構造や機能を知ることは看護技術を適切に実践するために重要である。ここでは、情報を収集して判断し、伝達するしくみと、人体内部の環境を整えるしくみの観点から人体を系統立てて理解し、健康と疾病、障害の理解の基礎を学ぶことを狙いとして科目を設定する。

学習目標	1. 身体の情報伝達を担う神経系の基本構造とはたらきについて理解できる。 2. 視覚・聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚を受容する感覚器の基本構造とそのはたらきについて理解できる。 3.　自律神経と内分泌器官の構造とはたらきについて理解できる。
学習内容	オリエンテーション 解剖生理学を楽しく学ぶために 授業のすすめ方 1. 情報の受容と処理(情報を収集して判断し、伝達するしくみ) 1)神経組織 (1)神経細胞と情報伝達 (2)神経細胞と支持細胞 2)中枢神経系の構造と機能 (1)大脳 (2)間脳 (3)脳幹 (4)小脳 (5)脊髄 (6)中枢神経を保護する組織 3)末梢神経系の構造と機能 (1)脳神経 (2)脊髄神経と神経叢 (3)体性神経系 (4)自律神経系 4)目の構造と視覚 5)耳の構造と聴覚・平衡覚 6)味覚と嗅覚 7)皮膚の感覚受容器と皮膚感覚の種類 2. 内臓機能の調節(内部の環境を整えるしくみ) 1)自律神経による調節(自律神経の機能と構造 2)内分泌系による調節 3)全身の内分泌腺と内分泌細胞 4)ホルモンによる調節の実際
授業形態	講義
評価方法および評価の観点	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎1 「解剖生理学」 医学書院
参考資料・図書	授業内で適宜提示する
履修上の留意事項・受講条件	基礎となる分野なので休まずに受講すること